

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	茨木市立児童発達支援センターあけぼの学園			
○保護者評価実施期間	令和8年2月6日		～	令和8年3月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60	(回答者数)	53
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～	令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数)	41
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月18日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援計画に沿った支援を丁寧に行っている。	お子さんに関わる職員が必要に応じて意見交換しながら計画作成をするともに、日々目標を確認しやすいようそれぞれが工夫し、目標などに対するこどもの様子、支援の方法について振り返りを行っています。	事務的な業務を効率的に行い、より一層こどもの様子や支援の工夫などについて話し合える時間を確保できるよう取り組んでまいります。
2	定期的(年間3回の個人懇談)な面談の機会があり、各専門職(心理士、言語聴覚士、作業療法士)による相談等も行っている。こどもや家族からの相談や申入れがあった場合には、迅速に対応するように心がけており、こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮を行うよう心がけている。 ※行事や懇談会の予定をもう少し早く知らせたいとの要望がある。	個別支援計画作成時と年度末の個人懇談以外に、心理士、言語聴覚士、作業療法士による相談も受け付けています。また、お子さんとの関わり方などの相談は随時受け付けています。日々の子育ての中での不安や疑問、困りごとなどにつきましては、連絡帳や電話等で質問があり次第できるだけ速やかに返答するよう心がけています。相談の内容に応じ、連絡帳や電話、面談等で対応させていただいております。また、各種行事や懇談会等の日程も各種お便りなどでお知らせしています。	心理士、言語聴覚士、作業療法士への相談ができることを周知するなど、相談しやすい環境づくりに取り組んでまいります。各種行事や懇談会の予定など、調整した日程については、できる限り早くお伝えできるように努めてまいります。
3	事業所の設備はバリアフリー化ができていないところもあるが、生活空間はパーテーションやスケジュール、絵カードなどを使った視覚支援をしており、こどもはわかりやすく行動できていると思う。	職員のスキルアップに向けて、内部講師、外部講師による研修会、他機関で行っている研修への参加、他事業所への施設見学、大阪府地域発達支援事業所等サポート事業を活用してスーパービジョンを受けるなどの取り組みを行っています。	今後ともこどもが理解しやすい環境づくりを心がけるとともに、より良い支援につなげられるよう、研修等に励んでまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	生活空間では、便座が冷たい、手洗い場でお湯が出ないなどをはじめ、設備面は全体的に老朽化している。掃除はおおむね行き届いていると思うが、心地よく過ごせる環境とは言い難い面もある。	昭和49年開設の事業所で、限りある財源を有効に活用するため、年次計画を立てながら、優先部分を中心に改修を行っています。清掃等にも十分配慮しておりますが、お気づきの点がございましたらご遠慮なくお聞かせください。	令和7年度は部屋の床材の一部を改修しました。設備面につきましては、様々なご要望があることを認識しております。より心地よく過ごせるよう、計画的に整備を行ってまいります。
2	事業所の活動プログラムはこどもたちが見通しをもって活動できることを目的に取り組んでいる。似たようなパターンで取り組みながらスモールステップで進め、般化につながりやすいようにしているが、活動内容のバリエーションを増やしていくよう、職員間でアイデアを出し合いながら進めていく必要がある。 ※職員配置についてはおおむね適切な人数を配置できているが、活動内容によっては、もう少し配置しても良いのではとの意見がある。	活動に関しましては、お子さんの状況をふまえたうえで、似たようなパターンで行ったり、理解してできていると判断される場合には、少しずつ形を変えながらより良い経験ができるよう、スモールステップを考えながらプログラムを作っています。今後ご理解いただけるよう活動内容を工夫するとともに、具体的な説明を心がけていきます。配置基準を超える人員配置をしております。今後もお子さんの様子や活動内容に応じた人員配置を職員間で協力しながら行ってまいります。	通園するこどもひとりひとりの状況を考慮しつつ、意欲的に過ごせるように、スモールステップで取り組んでまいります。こどもたちが安全で安心して活動できるよう職員間で協力しながら取り組んでまいります。
3	定期的にお便りやホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報、業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信している。 ※今後も内容の充実や有効な情報等を掲載してほしいという意見がある。	ホームページを月1回更新するよう心がけ、アンケートにご協力いただいた、事業所の評価も掲載しております。	避難訓練の様子など、日ごろ保護者の方が参観等ではご覧になりにくい場面などにつきましては、園だよりやホームページなどでお知らせしてまいります。